

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-143866

(43)Date of publication of application : 11.06.1993

(51)Int.Cl.

G07G 1/12  
G06F 15/21

(21)Application number : 03-308013

(71)Applicant : HOKURIKU NIPPON DENKI  
SOFTWARE KK

(22)Date of filing : 22.11.1991

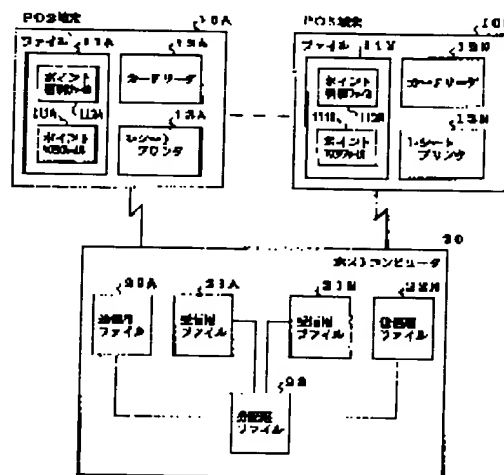
(72)Inventor : ENDO KAZUYASU

## (54) POINT SERVICE SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide service which enables a customer to utilize all shops with only one card and speedily cope with the loss of the card by the point service system consisting of POS terminals installed in plural shops and a host computer which controls them.

CONSTITUTION: Daily point information by customers is stored in point detail files 112A-112N. This information is sent to files 21A-21N for reception after the shops close and all merged together in a file 23 for distribution, and information except from the shops is sent to files 22A-22N for transmission. The information sent to the files 22A-22N for transmission is sent as other-shop point information to corresponding shops. At each shop, the customer's magnetic card information is read in by card readers 12A-12N and used as a key to retrieve point master files 111A-111N, and the point balance of the customer up to yesterday is taken out and printed out on receipt printers 12A-12N.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 10.11.1995

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2859010

[Date of registration] 04.12.1998

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-143866

(43)公開日 平成5年(1993)6月11日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 7 G 1/12

G 0 6 F 15/21

識別記号

3 2 1 P 8921-3E

3 1 0 Z 7218-5L

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全 4 頁)

(21)出願番号

特願平3-308013

(22)出願日

平成3年(1991)11月22日

(71)出願人 000242666

北陸日本電気ソフトウェア株式会社

石川県石川郡鶴来町安養寺1番地

(72)発明者 遠藤 和保

石川県石川郡鶴来町安養寺1番地 北陸日

本電気ソフトウェア株式会社内

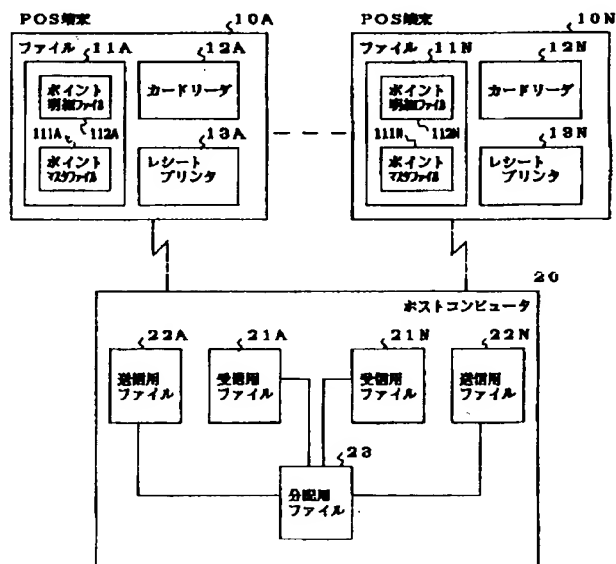
(74)代理人 弁理士 後藤 洋介 (外2名)

(54)【発明の名称】 ポイントサービス方式

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 複数の店舗にそれぞれ設置されたPOS端末と、それを制御するホストコンピュータによるポイントサービス方式において顧客に対して一枚のカードだけで全店を利用でき、カード紛失にも迅速に対応できるサービスを提供する。

【構成】 当日の顧客別のポイント点数情報は、ポイント明細ファイル112に格納される。この情報は、閉店後、受信用ファイル21に送られ、分配用ファイル23で、一つに結合され、当該店舗以外からの情報を送信用ファイル22へ送られる。送信用ファイル22に送られた情報は、他店当日ポイント点数情報として、対応する店舗に送られる。各店舗においては、顧客の磁気カード情報をカードリーダ12で読み、顧客コードをキーにしてポイントマスタファイル111を検索して、当該顧客の前日までのポイント残高を取り出し、レシートプリンタ12により印字出力する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 店舗において顧客が使用した額に応じたポイントを与え、ポイント残高により各種のサービスを行なうポイントサービス方式において、複数の店舗にそれぞれ設置されたPOS端末と、前記複数のPOS端末を制御するホストコンピュータとを有し、

前記複数のPOS端末のそれぞれには、顧客コードが記録された顧客識別カードの情報を読む手段と、顧客毎の当日のポイント点数情報を格納する第一のファイルと、顧客毎の前記ポイント残高を格納する第二のファイルとが設けられ、

当日の業務終了後に、前記複数のPOS端末の第一のファイルから、当日のポイント点数情報を前記ホストコンピュータに集め、全店での当日ポイント点数情報を利用して、前記複数のPOS端末に設けられた前記第二のファイルを更新することを特徴とするポイントサービス方式。

【請求項2】 前記複数のPOS端末に、前記第二のファイルに格納されている前記ポイント残高を印字出力する手段を有することを特徴とする請求項1記載のポイントサービス方式。

【請求項3】 前記顧客識別カードには、前記顧客コードの他に、第二のコードを記録し、複数の前記顧客識別カードに同一の顧客コードを記録することを特徴とする請求項1または2記載のポイントサービス方式。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、店舗において顧客が使用した額に応じたポイントを与え、ポイント残高により各種のサービスを行なうポイントサービス方式に関する。

**【0002】**

【従来の技術】 従来、この種のポイントサービスにおいては、顧客へポイントを与える手段として、ポイントシールを発行し、このシールを台紙に貼るようにしている。例えばチェーン店等の複数の店舗で共通のポイントシールを使用しておけば、チェーン店として加盟しているどの店舗からも同一のポイントシールを発行できるので、このポイントシール方式は、現在でも数多く採用されている。

【0003】 最近では、ポイントシールの代わりに磁気カードを顧客に持ってもらい店舗別磁気カード方式も採用されるようになってきた。この店舗別磁気カード方式においては、各店舗専用の磁気カードを発行し、その店舗での使用毎に磁気カードをPOS端末に挿入して、POSシステムに蓄積されているその顧客のポイント残高を更新している。すなわち、その店舗での購入などの場合には、使用金額に応じたポイントを、POSシステム内のポイント残高に加算する。ポイント残高が規定の点

数以上になりサービスを受けた場合には、そのサービスに応じたポイントだけ、POSシステム内のポイント残高から減算する。

【0004】 また、POSシステム内にポイント残高を蓄積する代わりに、磁気カード内にポイント残高を持たせる磁気カード内ポイント蓄積方式も提案されている。

**【0005】**

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、店舗別磁気カード方式では、各店舗のPOSシステム内でポイント残高を管理しているために、複数の店舗で磁気カードが共用できず、店舗毎の磁気カードを顧客に持ってもらうことになり、大変不便である。また、全店での合計のポイント残高に応じたサービスが行えない。

【0006】 また、磁気カード内ポイント蓄積方式においては、磁気カードを複数の店舗で共用できる便利さはあるが、顧客が磁気カードを紛失したような場合には、ポイント残高が確認できず、ポイント残高があるにもかかわらず、顧客サービスができない。

**【0007】**

【課題を解決するための手段】 本発明によるポイントサービス方式においては、複数の店舗にそれぞれ設置されたPOS端末と、前記複数のPOS端末を制御するホストコンピュータとが設けられている。複数のPOS端末のそれぞれには、顧客コードが記録された顧客識別カードの情報を読む手段と、顧客毎の当日のポイント点数情報を格納する第一のファイルと、顧客毎の前記ポイント残高を格納する第二のファイルとが設けられている。当日の業務終了後に、複数のPOS端末の第一のファイルから、当日のポイント点数情報をホストコンピュータに集め、全店での当日ポイント点数情報を利用して、複数のPOS端末に設けられた前記第二のファイルを更新する。

**【0008】**

【実施例】 次に、本発明の一実施例を示した図面を参照して、本発明をより詳細に説明する。

【0009】 図1を参照すると、本発明の一実施例によるPOSシステムは、複数(N箇所)の店舗A～Nにそれぞれ設けられたPOS端末10(10A～10N)と、POS端末10を制御するホストコンピュータ20とから構成されている。

【0010】 本実施例においては、顧客毎に磁気カードが発行される。この磁気カードには、顧客を識別する顧客コードが記録されている。顧客コードは、顧客の利用単位毎に、例えば同一家族単位に一つのコードを与えられる。この場合には、同一の顧客コードが記録された磁気カードが家族数だけ発行され、顧客コードの他に家族コードが付加される。

【0011】 POS端末10は、同一の構成になっており、ポイント残高を記憶するファイル11(11A～11N)と、顧客の磁気カードの情報を読み取るカードリ

ーダ12(12A~12N)と、ポイント残高を印字出力するレシートプリンタ13(13A~13N)とを含んでいる。ファイル11は、前日までのポイント残高が格納されたポイントマスタファイル111(111A~111N)と、本日のポイント点数が格納されるポイント明細ファイル112(112A~112N)とを有している。

【0012】ホストコンピュータ20は、POS端末10A~10N内のポイント明細ファイル112A~112Nからそれぞれ本日のポイント点数情報を受ける受信用ファイル21A~21Nと、受信用ファイル21A~21Nからの情報を基に各POS端末に送信すべき情報を分配するための分配用ファイル23と、分配用ファイル23からの情報を受ける送信用ファイル22A~22Nとを有している。

【0013】次に、本実施例の動作を説明する。まず、店舗AにおけるPOSシステム10Aにおいては、顧客から提示された磁気カード(図示せず)の情報をカードリーダー12Aで読み、顧客コードをキーにしてファイル11Aのポイントマスタファイル111Aを検索して、当該顧客の前日までのポイント残高を取り出し、レシートプリンタ12Aにより印字出力する。

【0014】その当日各店舗A~Nで顧客に与えられた顧客別のポイント点数情報は、各POS端末10A~10Nのポイント明細ファイル112A~112Nにそれぞれ格納されている。これらの情報は、閉店後、通信回線を介してホストコンピュータ20内の受信用ファイル21A~21Nにそれぞれ送られる。すべての店舗から当日のポイント点数情報が受信用ファイル21A~21Nに受信されると、分配用ファイル23へ送られる。分配用ファイル23は、各店舗から送られてきた当日のポイント点数情報を一つに結合し、当該店舗以外からの情報を送信用ファイル22へ送る。すなわち、POS端末A以外の端末B~Nからの当日ポイント点数情報が、送信用ファイル22Aへ送られ、POS端末N以外の端末A~Mからの当日ポイント点数情報が、送信用ファイル22Nへそれぞれ送られる。送信用ファイル22に送られた情報は、他店当日ポイント点数情報として、対応する店舗に送られる。

【0015】ホストコンピュータ20から、他店当日ポイント点数情報として送られてきた情報は、各店舗のPOS端末10において、(ポイント明細ファイル112に格納されている)当該店舗の当日ポイント点数情報と

ともに、ポイントマスタファイル111の格納情報を更新するのに使用される。このようにして、店舗の閉店後には、各店舗のポイントマスタファイル111A~Nには、全顧客の当日までのポイント残高が格納される。これにより、翌日の開店時には、前日までのポイント残高を各店舗で使用できる。

【0016】以上述べたとおり、本実施例においては、顧客毎に一枚の磁気カードを持ってもらうことにより、全店で使用できる。また、仮に顧客が磁気カードを紛失しても、顧客コードを入力することにより、その顧客のポイント残高を知ることができるので、顧客サービス上で大きなメリットとなる。さらに、家族カードなどのように、同一家族が複数のカードを使用していれば、紛失したカード以外の家族カードでポイント残高を知ることができる。

【0017】なお、上に述べた実施例においては、磁気カードを使用したか、他のカード、例えばICカードなどを使用することも可能である。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、顧客が前日までにどの店舗を利用して与えられたポイントであっても、当日任意の店舗で前日までのポイントを知ることができる。したがって、顧客に対して一枚のカードだけで全店を利用できる。

【0019】また、POSシステムに顧客毎の全店でのポイント残高が残るので、カード紛失にも迅速に対応できるとともに、顧客単位での履歴管理にも利用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例によるPOSシステムの機能ブロック図である。

【符号の説明】

10 (10A~10N)	POS 端末
11 (11A~11N)	ファイル
12 (12A~12N)	カードリーダー
13 (13A~13N)	レシートプリンタ
111 (111A~111N)	ポイントマスタファイル
112 (112A~112N)	ポイント明細ファイル
20	ホストコンピュータ
21 (21A~21N)	受信用ファイル
22 (22A~22N)	送信用ファイル
23	分配用ファイル

【図1】

